

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所リーノ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 4月 1日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和 7年 4月 1日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの様子、特徴をしっかりと分析して、そこお子さんにあった専門性の高い支援を行っているところ。そして、その内容を個別支援計画に反映しているところ。そこが、保護者の皆様の利用に対する満足度などの高評価の一要因ではないかと考えている。	職員それぞれが自身の思い込みにならないように、職員間でミーティング等を行ったり、都度必要時に情報共有をして事業所としてしっかりとお子さんの様子について分析を行っている。	現状のように、職員間で連携してお子さんの様子をしっかりとつかみ、お子さんの成長変化へとつなげていけるように支援を行っていく。
2	集団的な療育を行っているが、1日学校で過ごしてきたことも配慮し、余暇的な楽しみの要素を入れた活動内容を仕組んでいる。内容はバリエーションに富んでいる。長期休みの支援については、余暇の要素と普段はあまり経験できないような社会経験につながる内容の活動も実施している。このようなことがご本人の満足度にもつながっているのではと考える。	内容が毎回同じにならないように、お子さん達の様子をしっかりと踏まえつつ、楽しくかつねらいを持った活動内容になるように検討を重ねている。	ただ楽しいだけの活動にならないように、ねらいを持った活動内容にしていくために、職員全員でアイデア出しを行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者のみなさんが交流できるような企画を行うことがないところ。	毎年学習会などの企画をして、その時に交流が図れるようにと対応してきたが、親御さんの交流が限定的であり、しっかりと交流を図るという面では不十分であったように感じている。	親御さんに交流に関するアンケート等を実施し、ニーズを把握したうえで、どのような企画を行っていくことが良いかを検討する。
2	事業所の様子について、こまめにホームページにアップするといった取り組みが不十分である。	業務が多岐にわたり、内容的にも多いので、実際のところ様子を保護者の皆様に写真などでお伝えすることが出来ていない。	「参観する場を設けてもらうことがどうか」といったご意見もいただいているので、様子の画像等をみていただく機会を増やせるように検討する。
3	利用の(送迎も含め)希望に対して、ご希望をいただくが定員枠や職員のマンパワーや業務内容の限度もあり、いただくご意見には添え切れていない現状がある。	職員の体制的なところや、距離などの物理的な要因もあり、線引きをしなくてはならない状況ではある。	この問題は、他事業所でも同じように大きな課題となっており、圏域の課題としてとらえていく必要もあるのではと考えている。